

令和5年度 「農業農村整備事業広報大賞」 団体別推薦表

別紙様式－2

(山形県地方協議会)

広報タイトル名	河北水・土・里 POWER フェスティバル		住 所	山形県寒河江市大字西根字石川西 355
主催団体等名	寒河江川土地改良区		連絡先	氏 名 (tel) 成澤 浩平 0237-86-8341
<p>1. 広報活動の内容</p> <p>(概 要)</p> <p>寒河江川土地改良区では、農業農村整備事業について地域住民に幅広く知ってもらいたいという思いから、『河北水・土・里 POWER フェスティバル』を令和4年度より毎年10月に開催しています。このイベントでは、寒河江川土地改良区が管理する谷地堰円筒分水工親水空間を会場とし、管内で実施している農業農村整備事業を紹介するパネル展示をはじめ、農研機構が寒河江川土地改良区管内（河北町）で実証研究しているスマート農業技術や、田んぼダムの取組状況の紹介を行い、地域住民が、農業農村整備事業が果たす役割や最先端の技術を身近に感じてもらえるようなイベントを開催しました。さらに、地元小学生が手作りした「水新聞」の展示、町内建設会社の協力により現場で活躍する働く車（重機）の展示・紹介を行いました。</p> <p>また、令和2年度に河北町を襲った豪雨災害の経験や、そこで得た教訓を後世にも繋いでいくため、当時の災害のパネル展示と合わせて、小学生でも参加しやすい工夫として、クイズラリー形式での自然災害に関する学習コーナーを取入れ、地域住民が今一度自然災害について考える機会を作り、農業農村整備事業が地域の防災・減災対策を担っているということを幅広く知ってもらいました。</p> <p>イベントの開催にあたっては、町の広報誌のみならず、地元のラジオ番組に地元の小学生と出演して本イベントを告知する際に、農業農村整備事業が持つ役割について発信するなど、メディアを活用した広報活動も積極的に行いました。</p> <p>本活動は、特に将来を担う小学生と一緒に作り上げてきたイベントであり、小学生が楽しみながら我が事として自分の地域を考える学習の場や、「自分の住んでいる町は農業農村整備と深く溶け込んでいる」という意識を育てる場であるとともに、非農家も含めた地域住民に対しても農業農村整備事業を通じた地域ぐるみの防災意識を高めることに大きく貢献していると評価し、このたび推薦するものです。</p> <p>(広報対象) ア. 事業の受益者 イ. 地域の住民（学生・児童含む） ウ. 不特定</p>				
<p>2. 添付資料 ポスター、写真、新聞記事</p>				



農業農村整備事業の紹介



小学生が作成した水新聞



ラジオでのイベント・NN事業の周知



田んぼダムの説明



小学校の施設見学会



スマート農業、防災に関するクイズラリー



農研機構の研究紹介



災害・防災情報の周知



現場で活躍する重機の紹介

寒河江川土地改良区たより

2023/令和5年 5/1 No.43

土地改良区の概要

受益面積 83,107ha

組合員数：3,886名



水は農業用水、地域用水を
土は土地、農地、土壌を
里は農村空間や農家・非農家などの
生活空間を表現しています。

CONTENTS

理事長あいさつ	2
第46回通常総代会を開催	3
令和5年度新規採択県営土地改良事業	4
令和5年度に実施の主な土地改良事業	5
令和5年度柴橋地区農地整備事業（調査計画）	6
令和5年度予算の概要、賦課金について	7
土地改良区からのお知らせ ほか	8～10

編集・発行
寒河江川土地改良区

TEL.(0237)86-5112 FAX.(0237)86-0474 山形県寒河江市字中河原222番地の2
E-mail:sagae-r4@cpost.plala.or.jp <https://www.sagaegawa.com/>



河北水・土・里 POWERフェスティバル

令和4年10月9日、河北町谷地東地内にある谷地堰第11号分水（円筒分水）にて、イベントを開催しました。地元の方々に農業用施設が防災・減災効果を発揮していることを知ってもらうために、クイズラリーや田んぼダムの模型展示などを行いました。

河北水・土・里POWERフェスティバル

開催日：令和4年10月9日（日）
9：30～13：00



イベント

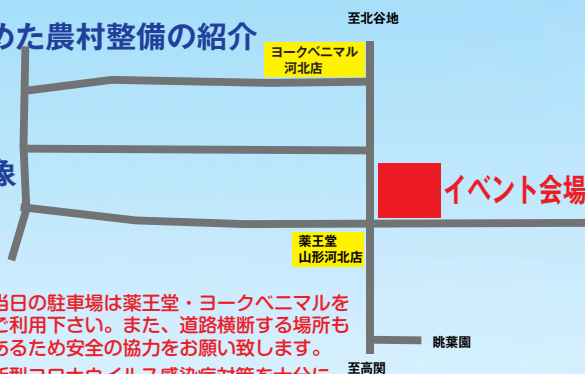
- ①土地改良区・河北町で実施中のスマート農業技術を含めた農村整備の紹介
- ②クイズラリーをして「商品」をゲット！！
(上位賞品は別格のプレゼント)
抽選会：11：45～定員100名 ※中学生以下対象
- ③記念カレンダーをつくろう！！
- ④働く車の展示（農村整備工事で働く車がくるよ!!）

出展団体：寒河江川土地改良区

河北町農林振興課

多面的機能向上スマート水管理実証コンソーシアム

河北町内協賛建設会社



※当日の駐車場は薬王堂・ヨークベニマルをご利用下さい。また、道路横断する場所もあるため安全の協力をお願い致します。

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施して開催します。皆様のご協力をお願い致します。

問い合わせ：寒河江川土地改良区

TEL:0237-86-5112

河北水・土・里 POWERフェスティバル



令和5年10月15日(日) 9:00~15:00

土地改良区・河北町で実施中のスマート農業技術を含めた農村整備の紹介

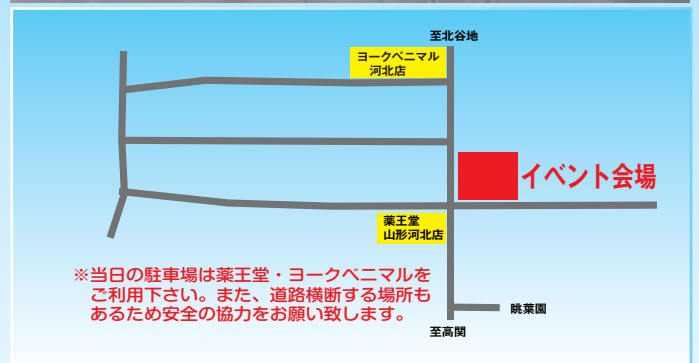
クイズ&豪華抽選会

「※高校生以下対象」「※定員 100名程度」

働く車の展示



記念カレンダーを作ろう!



問い合わせ：寒河江川土地改良区
TEL:0237-86-5112

出展団体：寒河江川土地改良区 河北町農林振興課 農研機構（国立研究開発法人 農業・食品産業技術研究機構） 河北町内協賛建設会社 河北町立谷地中部小学校（4年生）

小学生が書いた水新聞



表面

◆ 河北町スマート農業プロジェクト ◆

「みんなにやさしい」
スマート農業



奥山農園の「冬みずたんぼ」に飛来するオオハクチョウ
奥山農園では、田んぼに集まる生き物のために、稲刈り後にも田んぼに水をはります。

スマート農業実証プロジェクト (R3~4年)



ICT機器を活用し省力化 冬みず田んぼ 「田んぼダム」で減災 減農薬・減化学肥料

私たちは、河北町畑中地区でスマート農業実証プロジェクトに取り組みました。田んぼへの水の出し入れをスマホとICT機器で遠隔操作するスマート水管理機器を導入し、水管理作業の省力化をはかっています。また、豪雨時には田んぼに水を貯めて下流の洪水を防ぐ「田んぼダム」に取り組んでいます。さらに、冬にも田んぼに水を貯める「冬みず田んぼ」によって、冬に飛来する水鳥や水生生物にとって棲みやすい環境を生み出しています。人にも環境にも優しい「みんなにやさしい」農業を目指しています。

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)および大学、民間からなる研究グループは、R3~4年度に山形県河北町で畑中地区の奥山農園とともに、スマート農業の実証プロジェクトに取り組みました。

多面的機能向上スマート水管理実証コンソーシアム



裏面



河北町の田んぼに息づく生き物たち



「田んぼダム」で水害対策

近年、気候変動の影響により水災害が激甚化・頻発化しており、令和2年7月豪雨災害では町内を流れる多くの河川が氾濫し、下流域では道路の冠水、家屋が浸水被害に見舞われました。

このような豪雨災害に対応するため、本年3月に「最上川水系流域治水プロジェクト」が公表されたところですが、その中で農地、農業用施設を活用した防災・減災対策として「田んぼダム」が位置付けられています。

「田んぼダム」とは、田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨の発生時に一時的に田んぼに雨水を貯めることで、排水路や河川に流れ出る水の量を少なくすること

で、洪水被害を軽減する取組です。排水ますに調整板(堰板)等を設置することで田んぼからの排水を人為的に抑制するもので、材料費も安価で簡単に設置できるのが特徴です。

河北町内でも農林水産省の多面的機能支払交付金を活用し、一部の地域で「田んぼダム」を実施しています。

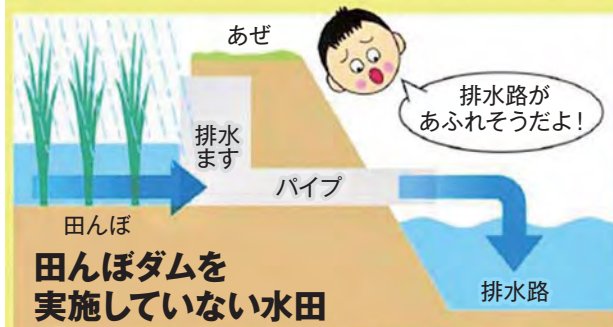
「田んぼダム」をさらに普及推進することで、近年甚大化する大雨災害への防災・減災対策のひとつとして効果が期待されます。



▲谷地南部地区活動組織が設置している排水ます。伸縮式の調整板で貯水・排水量を調整できる仕組み。(10月7日 谷地字月山堂地内)

「田んぼダム」のイメージ

激しい雨が田んぼを襲った時



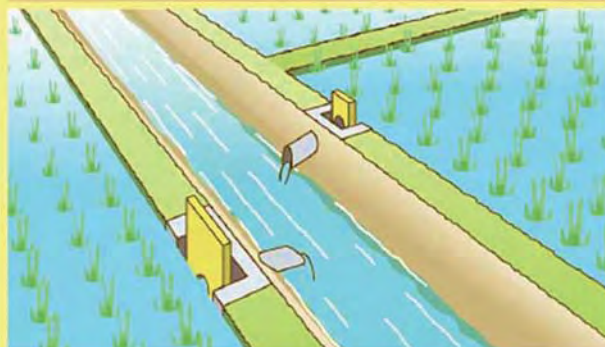
田んぼダムを実施していない水田



田んぼダムを実施している水田



溜まった雨水がそのまま排水路に流れるため、排水路は急激に水位の上昇が起こります。



調整板があることで排水路に流れる水量がゆっくりになることで、排水路の急激な水位上昇を抑えます。

引用元：新潟県農地部 多面的機能支払交付金 令和2年度活動取組事例集より

ます。実
待て
見回りを減らし、事故防止の効果も期待
証実験
は来年
度まで
行われ



(9月15日 畑中地内)

このシステムは、スマートフォン上で各田んぼの水門を遠隔操作で開閉できるシステムで、農家の水管理にかかる労力の省力化が期待されています。また、大雨時には田んぼに水をためる「田んぼダム」の機能も備えていて、水害の軽減だけでなく、豪雨時の農家の見回りを減らし、事故防止の効果も期待できます。実証実験は来年度まで行われます。

このシステムは、スマートフォン上で各田んぼの水門を遠隔操作で開閉できるシステムで、農家の水管理にかかる労力の省力化が期待されています。また、大雨時には田んぼに水をためる「田んぼダム」の機能も備えていて、水害の軽減だけでなく、豪雨時の農家の見回りを減らし、事故防止の効果も期待できます。実証実験は来年度まで行われます。

ICTスマート農業で田んぼの水管理を省力化



ICTを活用した水管理システム



FM山形（ラジオ）での周知

全体テーマ：河北町の秋のイベントについて

コマ	放送番組	放送日	収録日時 「個別収録」と「生放送出演」のいずれかを選んでください また「個別収録」の場合はいずれかの収録日時、収録方法を 「生放送出演」の場合は電話かスタジオ収録かを選んでください ※後日、より詳しい収録時間をお知らせいたします	ご出演氏名	団体名	内容 ※「お話しするテーマ」を1つと 「お話しする内容」について①～④にご記入 ください	電話番号	mail	備考
1	WAVE4yamagata Express	10月9日（月） 17:10～	○個別収録 ・10/2（月）[電話orスタジオ] ・10/9（月）[電話orスタジオ] 14:00～15:30の時間内 ○生放送出演 ・10/9（月）[電話orスタジオ]	河北町	都市整備課	テーマ：いもご列車一般公開について ① ② ③ ④			収録
2	WAVC4yamagata Express	10月10日（火） 17:10～	○個別収録 ・10/3（火）[電話orスタジオ] ・10/10（火）[電話orスタジオ] 14:00～15:30の時間内 ○生放送出演 ・10/10（火）[電話orスタジオ]	河北町	べに花温泉 ひなの湯	テーマ：べに花温泉ひなの湯について ① ② ③ ④			収録
3	WAVE4yamagata Express	10月11日（水） 17:10～	○個別収録 ・10/4（水）[電話orスタジオ] ・10/11（水）[電話orスタジオ] 14:00～15:30の時間内 ○生放送出演 ・10/11（水）[電話orスタジオ]	河北町	紅花資料館	テーマ：べに花資料館について ① ② ③ ④			収録
4	WAVE4yamagata Express	10月12日（木） 17:10～	○個別収録 ・10/5（木）[電話orスタジオ] ・10/12（木）[電話orスタジオ] 14:00～15:30の時間内 ○生放送出演 ・10/12（木）[電話orスタジオ]	寒河江川 土地改良区	寒河江川 土地改良区	テーマ：POWERフェスティバルについて ① ② ③ ④			生放送
5	マジフラ	10月13日（金） 17:10～	○個別収録 ・10/6（金）[電話orスタジオ] ・10/13（金）[電話orスタジオ] 14:00～15:30の時間内 ○生放送出演 ・10/13（金）[電話orスタジオ]	河北町立 谷地中部小 （4年生）	河北町立 谷地中部小 （4年生）	テーマ：POWERフェスティバルについて ① ② ③ ④			収録



(10月9日 親水エリア[東団地東側])

食・自然・防災 田んぼの役割を知ろう

寒河江川土地改良区主催の『河北水・土・里POWERフェスティバル』が開かれ、訪れた多くの人を楽しみながら、田んぼの役割などについて学びました。

今年初開催となるこのイベントは、農村整備事業などについて知ってもらおうと開かれたもので、クイズラリーや建設機械の展示、農研機構による先進的な水田の水管理システムの紹介などが行われました。

クイズラリーでは、水田や水管理施設には、おいしいお米を作るだけでなく、水害の軽減や生物環境の保全など多くの役割を持つことが紹介され、参加者は楽しみながらクイズに回答していました。クイズ参加者には抽選で、町内店舗の商品券や玩具などがプレゼントされました。

「食べ物の美味しさは最終的に水の綺麗さが重要になる。世界的にも水不足が問題になっているが日本は自然豊か。さらにこの地域は、月山のきれいな雪解け水などが末端の田んぼまで流れる。県内でも半分の地域は最上川の水をポンプで揚げて流しているの、これはこの地域に恵まれた大きな財産だ。このイベントを通して水資源の大切さを感じてもらえたら嬉しい。」



奥山喜男理事長

広報かほく (NO.1347) 2022年12月1日号 掲載



山形新聞 2022年10月26日 掲載